



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年11月14日

上場会社名 株式会社 エルアイイーエイチ
コード番号 5856 URL <https://lieh.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 経理部長
四半期報告書提出予定日 2023年11月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6458-6913

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	9,146	6.2	547		59		55	71.3
2023年3月期第2四半期	8,614	14.3	23	84.1	13		32	

(注) 包括利益 2024年3月期第2四半期 45百万円 (87.8%) 2023年3月期第2四半期 23百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	0.74	
2023年3月期第2四半期	0.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	6,629	3,029	45.7	40.45
2023年3月期	6,222	3,059	49.2	40.85

(参考) 自己資本 2024年3月期第2四半期 3,029百万円 2023年3月期 3,059百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		1.00	1.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の配当金につきましては、先行き不透明な経営環境が続くことが予想されるため、現時点では未定とさせていただきます。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期									

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

2024年3月期の業績予想につきましては、現時点で会社全体での合理的かつ信頼性のある業績予想の策定及び公表が困難であると考え、引き続き非開示としております。

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	74,903,800 株	2023年3月期	74,903,800 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	8,349 株	2023年3月期	8,349 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	79,895,451 株	2023年3月期2Q	74,895,470 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(重要な後発事象)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、ロシア・ウクライナ情勢、またその影響等により、エネルギー・原材料価格の高騰が続いているものの、ペントアップ需要等、個人消費を中心に持ち直しの動きが見られ、緩やかな回復が見込まれる状況となっております。

このような状況の中、当社におきましては、これから需要が見込まれる分野を中心に、新サービスの開発や広告への投資等に取り組み、事業体制の再構築を推進してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,146百万円（前年同期比6.2%増）、営業損失547百万円（前年同期 営業利益23百万円）となりましたが、有価証券運用益561百万円及び持分法による投資利益75百万円があり、経常利益59百万円（前年同期 経常損失13百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益は55百万円（前年同期比71.3%増）となりました。

当社グループ企業のセグメントごとの経営成績は以下のとおりであります。

(食品流通事業)

当事業におきましては、2022年5月より開始した食肉卸部門の2023年4月分及び2022年7月より開始した業務スーパー春日部豊町店の2023年4月から6月分の売上が加算していること、全般的に食品・飲料・酒類の値上げが結果的に売上増に貢献していること、引き続き業務スーパーは他の一般的なスーパーマーケットより優位的な価格での販売を継続していることなどにより、売上は前年を上回りました。水道光熱費も前年より増加しているものの、第1四半期より継続して取り組んでいる業務スーパー部門の青果・精肉の粗利益改善などが功を奏し、利益は前年同期と比べ増加しました。部門別では、業務スーパー部門はセグメント利益(営業利益)352百万円(前年同期比18.5%増)、食肉卸部門はセグメント損失(営業損失)37百万円(前年同期 セグメント損失(営業損失)12百万円)となりました。

その結果、売上高7,570百万円(前年同期比8.0%増)、セグメント利益(営業利益)315百万円(前年同期比11.1%増)となりました。

(酒類製造事業)

当事業におきましては、国内での売上は順調に伸ばしておりますが、輸出においては特に台湾向けの受注減少が大きく影響しており、ほぼ前年同期の売上高となっております。営業利益については、物価高騰及び貯蔵樽購入、製造設備の修繕などの費用増加による商品原価率が上昇し、また、シンENMA、シンprimeENMAの広告費用359百万円が発生したためマイナスとなりました。

その結果、売上高879百万円(前年同期比0.6%減)、セグメント損失(営業損失)は349百万円(前年同期 セグメント利益(営業利益)91百万円)となりました。

(教育関連事業)

当事業におきましては、原材料費高騰による影響など、教育関連事業を取り巻く環境は依然先行きの見通しが難しい状況の中、講習会の映像配信に注力したところですが、制作費に見合う売上の貢献には至らず、また、教材販売や学内テスト、塾内テストの売上などが前年を下回ったため、営業損失は前年より拡大いたしました。

その結果、売上高697百万円(前年同期比3.7%減)、セグメント損失(営業損失)263百万円(前年同期 セグメント損失(営業損失)99百万円)となりました。

(その他)

当事業におきましては、その他損害保険代理店業等を行っており、売上高0百万円(前年同期比40.8%増)となり、セグメント損失(営業損失)0百万円(前年同期 セグメント損失(営業損失)0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの財政状態につきましては、当第2四半期連結会計期間末における総資産は6,629百万円となり、前連結会計年度末に比べ407百万円増加いたしました。

これは主として、担保差入有価証券が548百万円、預け金が290百万円、前払費用が245百万円それぞれ減少しましたが、現金及び預金が984百万円、受取手形及び売掛金が102百万円、有形固定資産が248百万円、投資有価証券が65

百万円それぞれ増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における負債は3,600百万円となり、前連結会計年度末に比べ437百万円増加いたしました。

これは主として、未払金が520百万円、支払手形及び買掛金が29百万円それぞれ減少しましたが、短期借入金が720百万円、長期借入金が256百万円それぞれ増加したことなどによります。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は3,029百万円となり、前連結会計年度末に比べ29百万円減少いたしました。

これは主として、親会社株主に帰属する四半期純利益で55百万円増加しましたが、利益剰余金を原資とする配当実施で74百万円、その他有価証券評価差額金10百万円がそれぞれ減少したことなどによります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想については、現時点で会社全体での合理的かつ信頼性のある業績予想の策定及び公表が困難であると考え、引き続き非開示としております。今後、期間の経過等により、適正かつ合理的な業績予想を行うことが可能になり次第、業績予想を速やかに開示することといたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	430,183	1,414,211
預け金	290,022	18
受取手形及び売掛金	1,061,504	1,164,099
有価証券	548,550	-
商品及び製品	980,843	1,001,311
仕掛品	125,812	90,475
原材料及び貯蔵品	105,667	111,258
未収入金	71,921	102,882
前払費用	348,927	103,842
その他	109,408	144,850
貸倒引当金	△17,383	△17,383
流動資産合計	4,055,456	4,115,565
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	444,373	589,047
その他（純額）	447,309	550,785
有形固定資産合計	891,683	1,139,832
無形固定資産		
ソフトウェア	16,780	46,718
その他	3,637	3,637
無形固定資産合計	20,417	50,356
投資その他の資産		
投資有価証券	723,208	788,361
敷金	201,437	199,905
出資金及び保証金	185,717	183,717
長期貸付金	147,624	155,429
破産更生債権等	4,468	4,468
その他	31,984	32,027
貸倒引当金	△39,832	△39,832
投資その他の資産合計	1,254,608	1,324,078
固定資産合計	2,166,710	2,514,266
資産合計	6,222,166	6,629,832

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,106,960	1,077,522
短期借入金	238,000	958,000
1年内返済予定の長期借入金	209,232	252,006
未払金	764,428	243,464
リース債務	443	-
未払法人税等	6,856	5,749
未払消費税等	26,267	9,295
未払費用	129,166	173,252
賞与引当金	4,603	5,547
その他	52,641	39,860
流動負債合計	2,538,600	2,764,699
固定負債		
長期借入金	444,833	658,271
繰延税金負債	3,179	2,942
退職給付に係る負債	39,478	40,333
資産除去債務	72,981	73,230
負ののれん	57,277	54,430
その他	6,647	6,647
固定負債合計	624,397	835,855
負債合計	3,162,997	3,600,554
純資産の部		
株主資本		
資本金	100,000	100,000
資本剰余金	2,189,522	2,189,522
利益剰余金	759,853	740,082
自己株式	△881	△881
株主資本合計	3,048,494	3,028,723
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	10,674	554
その他の包括利益累計額合計	10,674	554
純資産合計	3,059,168	3,029,277
負債純資産合計	6,222,166	6,629,832

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年9月30日)
売上高	8,614,753	9,146,491
売上原価	7,013,651	7,651,631
売上総利益	1,601,102	1,494,860
販売費及び一般管理費	1,577,680	2,042,800
営業利益又は営業損失(△)	23,421	△547,940
営業外収益		
受取利息	4	1,259
受取配当金	147	81
受取賃貸料	14,185	15,355
有価証券運用益	-	561,190
負ののれん償却額	6,422	6,422
持分法による投資利益	-	75,264
その他	7,082	2,014
営業外収益合計	27,841	661,587
営業外費用		
支払利息	3,372	18,089
持分法による投資損失	16,928	-
有価証券運用損	23,625	-
不動産賃貸費用	12,000	12,902
支払手数料	-	17,645
その他	9,140	5,661
営業外費用合計	65,066	54,298
経常利益又は経常損失(△)	△13,804	59,348
特別利益		
受取和解金	50,000	-
訴訟損失引当金戻入額	4,743	-
特別利益合計	54,743	-
特別損失		
訴訟関連損失	5,000	-
特別損失合計	5,000	-
税金等調整前四半期純利益	35,939	59,348
法人税等	3,761	4,223
四半期純利益	32,177	55,124
親会社株主に帰属する四半期純利益	32,177	55,124

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益	32,177	55,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△92	21
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,114	△10,141
その他の包括利益合計	△8,207	△10,120
四半期包括利益	23,969	45,004
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	23,969	45,004

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(取得による企業結合)

当社は、2023年9月28日開催の取締役会において、株式会社TransCoolの全株式を取得し、子会社化することを決議いたしました。当該決議に基づき、2023年10月2日に株式譲渡契約を締結し、同日付で当該株式を取得いたしました。

(1) 企業結合の概要

① 被取得企業の名称及びその事業の内容

被取得企業の名称 株式会社TransCool
事業の内容 学習塾(小・中・高の受験指導)等

② 企業結合を行った主な理由

授業動画制作・授業のオンライン化に対応した学習指導を行っている当該会社を子会社化し、コンテンツの制作等を内製化することにより、教育関連事業の売上高拡大と収益向上を図るためであります。

③ 企業結合日

2023年10月2日

④ 企業結合の法的形式

現金を対価とする株式の取得

⑤ 結合後企業の名称

変更ありません。

⑥ 取得した議決権比率

100%

⑦ 取得企業を決定するに至った主な根拠

当社が現金を対価として株式を取得したためであります。

(2) 被取得企業の取得原価及び対価の種類ごとの内訳

取得の対価	現金	90百万円
取得原価		90百万円

(3) 発生したのれんの金額、発生原因、償却方法及び償却期間

現時点では確定しておりません。